

よくある質問 質疑応答

Q：看護学科の授業科目について教えてください。

A：幅広く深い教養と豊かな人間性を養う「教養科目」と、看護に必要な知識を学ぶ「専門基礎科目」「専門科目」があります。教養科目は主に1～2年次で履修します。専門基礎科目及び専門科目は1年次から各学年の学習進度に応じた科目を開講しており、概ね3年間で履修します。4年次でも幾つかの科目を履修し、卒業研究を合格することで、これら卒業要件に必要な科目と単位を取得した者に対して、卒業を認めています。卒業者には「学士（看護学）」の学位が授与されます。詳しい授業科目については次のホームページでカリキュラムポリシー、カリキュラムデザイン及びシラバスなどをご確認ください。

- ・医学部看護学科ホームページ (<https://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/>)
- ・教育課程 (<https://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/education.html>)
- ・Webシラバス (<https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/syllabus.html>)

Q：看護師・保健師・助産師の国家試験について教えてください。

A：4年次において卒業が見込まれる者には、看護師国家試験の受験資格が与えられます。国家試験は厚生労働省により年1回（2月）に実施されます。合格者は看護師の免許を得て卒業することができます。また、保健師又は助産師の免許については、所定の時期に保健師又は助産師の各課程に所属のうえ、卒業要件とは別に必要な科目をすべて履修し、別途、国家試験を受験する必要があります。合格者は同免許を得て卒業することができます。

Q：学年毎に進級するための条件はありますか。

A：1年次終了時と、3年次前学期及び後学期の各終了時に、関門を設けています。ここまでに所定の単位を取得していない学生は、次の学年に進級することができません。

Q：保健師になりたいのですが、どういう過程を経て保健師の免許を取ることができますか。

A：1年生から保健師の免許に必要な科目を履修し、2年次3月に行われる選考試験において、10名以内の学生が選考され、保健師課程に所属します。そこで保健師の免許に必要な科目をすべて修得した者が、4年次に受験する国家試験に合格することで、保健師の免許が取得できます。

保健師の免許取得により、市区町村の役所や保健センター、保健所で地域に密着した保健活動を行う行政保健師、或いは、企業の保健室で社員の健康管理などを行う産業保健師といった職業に就くことが可能になります。

保健師課程の履修にかかる諸経費は、実習施設により異なりますが、テキスト代、交通費、宿泊費等で4万円程度の経費が必要です。

Q：助産師になりたいのですが、どういう過程を経て助産師の免許を取ることができますか。

A：1年生から助産師の免許に必要な科目を履修し、3年次後学期に行われる選考試験において、6名以内の学生が選考され、助産師課程に所属します。そこで助産師の免許に必要な科目をすべて修得した者が、4年次に受験する国家試験に合格することで、助産師の免許が取得できます。

看護師と助産師の免許取得により、妊娠中や出産後の妊婦のサポートやケア、正常分娩の際の助産介助といった行為が可能となります。看護師として採用され、助産行為に携わることも可能です。助産師だけで運営される助産院という施設もあります。

助産師課程の履修にあたり、テキスト代以外に演習・実習経費が必要です。演習・実習経費の目安は、年度により異なりますが、1人当たり約15～20万円です。この他に交通費・宿泊費が別途必要な場合があります。

Q：助産師課程の選考から漏れた場合、他に助産師の免許を取れる方法がありますか。また、希望者が定員を満たしていない場合でも、合格者が定員を下回る場合がありますか。

A：各課程に所属できなかった場合は、所定の卒業年内に免許を取ることは困難です。卒業後に助産師学校に通うなどの方法となります。選考試験では、取得科目の成績を勘案し面接等を行って決めるため、成績が低い場合など、合格者が定員を下回る場合があります。

また、保健師課程と助産師課程は同時に所属することができません。

(保健師の場合も同じです)

Q：保健師又は助産師の履修に向けて、高校在学中にやっておくべき入試対策はありますか。

A：入学後に、保健師又は助産師の免許に必要な科目を履修しますので、入学試験の時点では特にありません。

Q：高校で文系・理系の選択をする場合は、どちらを選択した方が良いですか。

A：どちらでも構いません。入学試験では理系・文系を問いません。

Q：看護学科を受験するための入試方法について教えてください。

A：入試種別は、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない推薦入試）、社会人選抜があります。それぞれの募集人員、受験資格、試験科目などは、次のホームページをご確認ください。

- ・入学案内 (<https://www.med.gifu-u.ac.jp/examinee/nur/>)

- ・アドミッション・ポリシー

- (https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f_applicant/policy.html)

- ・入試日程・募集人数 (https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f_applicant/accepted.html)

- ・学生募集要項 (https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f_applicant/guide.html)

- ・学部入試情報 (https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f_applicant/)

Q：実習の主な内容を教えてください。

A：1年生では見学中心の「初期体験実習」と地域の行事や活動に参加する「地域生活体験実習（1～2年次通年）」を行います。2年生では基礎的な生活援助に関する実習「基礎看護学実習」を行います。3年生では各領域・分野に沿った専門的な実習「臨地実習」を行います。4年生ではそれまでの実習での学びを統合した「統合実習」を行います。これら4年間を通じて、各学年の学習進度に応じた実習を計画しています。

Q：実習はいつ頃にありますか。

A：1年次は6月、このほか地域生活体験実習が不定期で行われます（1～2年次通年）。2年次

は2月～3月、3年次は9月～2月、4年次は4月～7月に実習が行われます。実習開始2週間前より、実習終了までの間は、各自で健康管理や感染対策を行っています。

Q：実習期間中の生活はどのようなものでしょうか。

A：実習開始前や実習期間中は、実習に集中できるよう健康管理が必要です。また、感染対策のため、アルバイトやサークル活動も中止するようお願いしています。

Q：実習が実施される頻度はどれくらいですか。

A：4年間を通じて実習が計画されており、通算で24単位（約24週間）の実習があります。また、保健師課程や助産師課程に所属する学生は、さらに多くの実習があります。

Q：実習先はどこがありますか。

A：岐阜大学医学部附属病院をはじめ、岐阜市民病院、岐阜赤十字病院、岐阜厚生病院、羽島市民病院、岐阜病院、一宮市立病院、一宮西病院などの病院と、寿楽苑、山県グリーンポート、訪問看護ステーションなどの保健・福祉施設です。場所は岐阜市内に留まらず、近隣の市町村にも出向きます。※学外の実習先は都合により変更する場合があります。

Q：養護教諭になりたいのですが、免許を取ることができますか。

A：養護教諭一種免許状の申請を目的とした科目の開講は行っていない。ただし、養護教諭二種免許状の申請をする資格を得ることは可能です。そのためには、保健師課程に所属し、看護師及び保健師国家試験に合格することと、卒業までに、卒業要件となっている単位や、必要な教職科目を取得しておくこと、それらの条件を揃えた上で、教育委員会へ申請する必要があります。